市政に対する一般質問

各質問議員のQRコードからは、それぞれの一般質問の動画をご覧いただけます。



麦倉 竹明 議員

- 小中学校プールの今後のあり方について
- 人口減少時代の学校、地域づくりについて

一般質問はこちら

小中学校プールの今後のあり方について

質問

近年の猛暑や施設の老朽化、将来的な財政負担などを踏まえ、学校プールを集約し、複数校で共同利用する方式について市の考えを伺います。また、近隣の筑西市で整備されている屋根付き・可動床式プールなどを参考に、本市においても拠点となるプールを整備し、各学校からバスで移動して共同利用する方式について、調査・研究する考えはあるか伺います。

答弁

市内小中学校のプールは、５０年以上が経過する学校もあり、大規模改修や改築が必要であり、教職員は日常の管理業務の負担があることを踏まえ、学校ごとにプールを設けるのではなく、既存プールの共同利用、新たなプールを建設して共同利用、民間プールの活用などが考えられます。今後は、安全で安定した学習機会確保のため、移動手段も含めた小中学校プールのあり方について、調査・研究を進めていきます。



小川 美穂 議員

- 学校給食について
- 教育国際交流事業を持続可能なものとするための仕組みづくりについて
- 公園管理について
- 産後ケア事業・産科について

一般質問はこちら

真岡市の地域特性を生かした交流体験プログラムについて

質問

教育国際交流事業の受入れについて、来日した生徒たちが真岡らしさを感じられる体験をすることで、より真岡の魅力が伝わります。真岡木綿、いちご、ＳＬなど、たくさんの地域資源がありますが、現在、各学校では、真岡市の地域特性を生かした交流体験プログラムとして、どのような事業を行っているのか伺います。

答弁

教育国際交流事業では、コベルコパワー真岡の発電所「みらいん」などの見学や夏祭りなど、各校が工夫して交流体験プログラムを実施しています。過去には、真岡木綿機織り、もちつき体験や茶道、浴衣の着付け体験なども実施しています。

今後は、教育国際交流連絡会議において、各校のプログラムの情報共有を図り、より有意義な教育国際交流活動が展開されるよう支援していきます。



大隈 広郷 議員

- 防災体制について
- 小学校における歴史教育について

一般質問はこちら

段ボールベッド等の備蓄について

質問

災害発生時に、避難所で床に直接寝る生活が続くことで身体的負担が増し、体調不良などにつながる恐れがあります。避難者の健康と尊厳を守るために、平時より体制を整えておくことが重要です。段ボールベッド等の備蓄数及び備蓄場所を伺います。また、発災後段ボールベッド等をどのように避難所へ搬送・設置する計画になっているのか伺います。

答弁

ベッドの備蓄は主要避難所の防災倉庫にアルミ製の簡易ベッド260台、真岡ハイトラ運動公園内の防災倉庫に、エア式の簡易ベッド5台、赤ちゃん用簡易ベッド33台です。段ボールベッドについては、安価で耐久性・快適性があることから、今後、計画的に備蓄を進めていきます。また、搬送については、災害対策本部と物資運搬担当職員が連携対応し、設置は避難所運営担当職員と避難者が協力して行います。



荒川 洋子 議員

- 少子化対策について
- ヤングケアラーの支援強化について
- 感震ブレーカーの導入について
- 児童生徒の熱中症対策について
- 公共施設の窓口短縮について

一般質問はこちら

公共施設の窓口短縮について

質問

県内の自治体で広がり始めた公共施設の窓口時間の短縮を実施している自治体からは、職員のワークライフバランスの向上や業務効率化、時間外労働の削減といった成果に前向きな声が上がっています。

本市においても、窓口に来なくても済む手続きのオンライン化に一層力を入れ、行政の省力化と住民の利便性向上の両立を目指しながら窓口短縮に取り組む考えがあるのか伺います。

答弁

公共施設の窓口短縮は、業務改善や政策立案に取り組む時間を確保し、市民サービスの向上や適正な労務管理による働きやすい職場環境づくりにつながるため、検討を進めているところです。窓口受付時間短縮の検討では、マイナンバーカードを使用したコンビニ交付サービスや、各種行政手続きのオンライン化等の代替手段に力を入れ、窓口全体の待ち時間を減らし、市民サービスの低下がないよう取り組んでまいります。



櫛毛 隆行 議員

- 障がい児支援の持続可能な支援体制の構築について
- 防災行政について

一般質問はこちら

消防団の客観的な再編検討基準について

質問

少子高齢化や人口減少が進む中、今後消防団員の確保はさらに難しくなることが予想されます。機能別団員を定数上限まで登用してもなお、消防団員の充足率が一定基準を下回った場合を組織再編の検討開始時期とするなど、将来の団員減少を見据え、客観的な再編検討基準と今後の方向性をあらかじめ示しておく考えはあるか伺います。

答弁

検討開始時期については、令和８年３月提出の真岡市消防団の活性化に関する提言書の中で、「市消防団の充足率が７０％を下回る状況が２年以上続いた場合」や、「各部の充足率が６０％を下回る状況が２年以上続いた場合」のほか、「組織運営に弊害が生じた場合」等が条件として示されています。機能別消防団制度導入後も消防団員の減少を想定し、市消防団と協議を重ね、検討開始時期を定めていきます。



渡邉 隆 議員

- いがしらリゾートについて
- 庁舎内の諸問題について
- 農業行政について
- 生活道路について
- 小・中学校の諸問題について

一般質問はこちら

小学校体育館のエアコン設置に関するタイムスケジュールについて

質問

夏の猛暑が状態化し、児童生徒の熱中症対策は重要な課題となっています。また、学校体育館は災害時の避難所として活用されます。現在、小中学校体育館へのエアコン導入が進められており、今年度は中学校９校と真岡小学校でエアコン設置工事が実施されたところです。そこで、残り１３校の小学校体育館について、今後のエアコン設置に関するタイムスケジュールをお伺いします。

答弁

真岡小学校を除いた小学校１３校の体育館空調設備整備につきましては、今年度は設計業務を行っております。また、国の補助事業を活用するため、現在、国や栃木県と協議を行っているところです。

今後は、補助金の交付申請に向けた事務手続きを進め、来年度早々に発注を行い、夏休みを中心に設置工事が実施できるよう、９月上旬供用開始を目途に取り組んでまいります。



飯塚 正 議員

- 介護保険制度について
- 特定外来生物対策について
- 災害避難所の生活環境改善について
- 大震災対策について
- 「原爆平和記念式典」への派遣について

一般質問はこちら

特定外来生物対策について

質問

県内では特定外来生物クビアカツヤカミキリの被害が拡大しており、新聞などでも大きく取り上げられています。真岡市でも被害が確認されているとのことですが、他自治体では、クビアカツヤカミキリ捕獲に対する報奨金制度を設けているところもあります。被害拡大防止のために、真岡市でも同様の制度を設けてはどうか伺います。

クビアカツヤカミキリとは・・・
サクラやモモなどの樹木内部を幼虫が食い荒らして枯死させ、農業や景観に甚大な被害をもたらす。

答弁

クビアカツヤカミキリの被害拡大防止のための取組みとして、真岡造園協会の御厚意による小中学校や高校、公園等での薬剤散布、民有地の被害木伐採費用の補助金制度など実効性のある防除事業を実施しています。成虫の確認数が少ないこともあり、現時点で駆除の報奨金制度を設ける予定はありませんが、今後は他市の動向を含め有効な対処法を調査研究してまいります。



上原 チョー 議員

- プール授業の民間委託について
- 猫の適正飼養に関する市の取り組みについて
- 市の新たなイベントについて

一般質問はこちら

公益財団法人どうぶつ基金のさくら猫事業について

質問

令和８年２月定例会において、公益財団法人どうぶつ基金のさくら猫事業に関して、協力病院で無料不妊手術を行う際に使用可能な不妊手術チケットの行政枠登録について、調査研究を行っていくとの回答でしたが、本市におけるその後の検討状況について伺います。

さくら猫事業とは・・・
公益財団法人どうぶつ基金が主体となり、行政やボランティアと協力して飼い主のいない猫に不妊去勢手術を行う取組み。手術済みの目印として、耳先をさくらの花びらのようにV字カットする。

答弁

さくら猫事業について、制度内容を確認するとともに、すでに同事業を実施している県内の自治体の状況の聞き取り及び市内の保護猫活動団体からの意見の聞き取りを行いました。また、本市における猫に関する相談・苦情は増加しており、野良猫対策が課題であると認識しました。これらを踏まえ、繁殖抑制などへの効果を期待し、同事業への行政登録に向けた準備を進めています。



柳田 尚宏 議員

- いがしらリゾートエリアの事業展開について
- 今後の真岡市を見据えた若者定着について
- 学校給食における月1回の「お弁当の日」の見直しについて

一般質問はこちら

地元企業の魅力発信のための取組みについて

質問

これからを担う若い世代が、真岡市に愛着を持ち、将来も住み続けたい、戻りたいと思える環境づくりが重要だと考えられます。若者の定着には「住む」だけでなく「地元で働く」選択肢を知ってもらう必要がありますが、若者と地元企業をつなぐために市が現在進めている具体的な取組みと、若い世代に向けた真岡市で働く魅力や地元企業の情報の効果的な発信方法について伺います。

答弁

地元企業の魅力発信に関する主な取組として、中高生向けの「企業見学バスツアー」の実施や、学生・一般対象の「合同企業説明会・面接会」を毎年開催しています。また、広報誌への若手従業員インタビュー掲載や中学２年生の社会体験「マイ・チャレンジ推進事業」なども実施しており、市内事業所を知るきっかけになっています。今後も多様な事業を通し、魅力発信に努めてまいります。



日下田 喜義 議員

- 災害の対応について
- 道路の整備及び管理について
- 高齢者の支援について
- 自転車の交通ルールの改正について

一般質問はこちら

街路樹の根上り対応と植樹桝の管理について

質問

市道の街路樹について、生育して太くなって根上りしたことなどにより、歩行に支障をきたしている歩道が見受けられますが、現在どのような対応を行っているのか伺います。

また、街路樹を伐採した後、そのままとなっている植樹桝があり、切り株による歩行者の躓きや転倒の危険性があると考えられますが、植樹桝の管理について、今後どのように実施していくのか伺います。

答弁

根上りは樹木の根が歩道を押し上げ段差を作る現象で、歩行に著しい支障がある場合は舗装を撤去して根を除去し復旧しています。一方、伐採後に残った植樹桝の切り株も安全上の課題ですが、限られた予算の中では舗装の根上りへの対応を優先しています。そのため、切り株に対しては歩行者が通行しないよう注意喚起のポールを設置するなどの安全対策を講じてまいります。

常任委員会の審査から

各常任委員会で審査した議案等について、主なものの概要を掲載します。

総務常任委員会

議案 第95号　真岡市一般会計補正予算（第7号）

質疑 いがしら温泉 おふろcafé いちごの湯 燃料費高騰対策緊急支援事業について、支援を行うのはどのような理由か。

答弁 重油・電気いずれも価格上昇が継続している。今後も利用料金に反映させることなく、これまでどおりの利用料金を据え置くため、国の重点支援地方交付金を活用して支援するものである。

⇒全会一致で可決

産業建設常任委員会

議案　第89号　真岡市火入れに関する条例の一部を改正する条例

説明 火入れの中止の条件として、新設された林野火災注意報を追加するほか、所要の改正を行うものである。

⇒全会一致で可決

※火入れとは…造林のための地こしらえや開墾準備、害虫駆除などの「土地の利用上の目的」を持って立木竹、雑草、積物等を面的に焼却する行為で、たき火とは異なります